

2026年2月17日

投資家の皆様へ

株式会社ZUU
コーポレート・マネジメント部

2026年3月期第3四半期オンライン決算説明会 質疑応答(要約)

日時: 2026年 2月16日(月) 15:00~16:30 出席者: (質疑応答)代表取締役 富田 和成 (司会進行)コーポレート・マネジメント部 竹中 瑛子
--

質疑応答 要約

【業績】

Q1) 将来的にベインやKKRのようなプライベートエクイティ運用会社を志向されているのでしょうか。また、業績を評価するうえで、そうした企業をベンチマークとして捉えることで、貴社の実力や成長段階をより適切に把握できるでしょうか。

A1) 広義の意味ではそのイメージで正しい。投資銀行業務(資金調達支援)と企業価値向上支援(コンサルティング)の両方を実現できる立ち位置を目指している。自らリスクポジションを取り、事業をバリューアップさせる理想の姿に向け、ファンド、投資銀行、グロース・コンサルの機能を融合させた企業と捉えてほしい。

【その他】

Q2) イントランス社のIR資料に関連して、AIやデータセンターへの投資に関する今後の発表予定はありますか。また、株式転換により筆頭株主となる可能性についてもIRでの発信を検討いただけますでしょうか。

A2) AIやデータセンター、蓄電池等の領域は、市場の伸びに対し金融機関からの資金が出づらいため、我々のファイナンスニーズ(関与すべき対象)として捉えている。株式転換後の対応(保有か売却か等)も含め、方向性が決まった段階で適切なタイミングでお話したい。

Q3) 決算説明資料16ページの「新規に取り組みを始めたAI案件」とは、具体的にどのような内容になりますでしょうか。

A3) 現在は主にAI導入の支援や、導入後の定着化に向けた運営支援をメインに行っている。一部の顧客に対しては、AIエージェントの開発や実装といった領域まで踏み込んだプロジェクトも動いている。

Q4) M&Aの進捗について、以前「LOIフェーズ」とお話しされていた案件は、今期中の実行が難しい状況なのでしょうか。

A4) LOI(意向表明書)を提出した案件はあるが、その後のデューデリジェンスや価格交渉の結果次第であり、現時点で実行の可否を明言することはできない。フェアディスクロージャーの観点からも、確定した段階でお伝えしたい。